

平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年7月30日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 エイジス

コード番号 4659 URL <http://www.aiis-group.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 齋藤 昭生

問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長

(氏名) 西岡 博之

TEL 043-350-0567

四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	3,381	△5.6	△342	—	△335	—	△237	—
24年3月期第1四半期	3,581	8.1	△53	—	△41	—	△36	—

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 △246百万円 (—%) 24年3月期第1四半期 △30百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	△49.15	—
24年3月期第1四半期	△7.55	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	9,495	7,311	76.7
24年3月期	10,777	7,805	72.2

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 7,287百万円 24年3月期 7,781百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	45.00	45.00
25年3月期	—				
25年3月期(予想)		0.00	—	45.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	9,295	2.2	618	△19.0	640	△18.4	338	△16.2	69.93
通期	19,170	3.6	1,312	△6.9	1,355	△6.2	670	9.7	138.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 有

新規 2社 （社名） AJIS(HONG KONG)CO., LIMITED
AJIS(THAILAND)COMPANY LIMITED 、 除外 1社 （社名）

(注)詳細は、添付資料P3「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注)詳細は、添付資料P3「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 有
- ④ 修正再表示： 無

(注)第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料P3「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期1Q	5,385,600 株	24年3月期	5,385,600 株
25年3月期1Q	543,802 株	24年3月期	543,782 株
25年3月期1Q	4,841,808 株	24年3月期1Q	4,841,896 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報.....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報.....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報.....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報.....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項.....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動.....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用.....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示.....	3
3. 四半期連結財務諸表.....	4
(1) 四半期連結貸借対照表.....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書.....	6
四半期連結損益計算書.....	6
四半期連結包括利益計算書.....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記.....	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記.....	8
(5) セグメント情報等.....	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要等により一部で持ち直しが見られたものの、依然として厳しい状況で推移いたしました。また、欧米の財政問題、長引く円高および株価低迷等から、先行き不透明な状況で推移いたしました。

当社グループの主要顧客であります流通小売業界においては、一部に企業業績の改善は見られるものの、復興需要の減速、流通小売業界全体での業態・業種を超える競争により、厳しい経営環境が続いております。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①国内棚卸サービス

国内棚卸サービスにおいては、前期に引き続き「独自技術を身につけたプロフェッショナル集団の構築」を目指し、品質向上に努めてまいりました。また地域密着営業を行い、顧客開拓を推進してまいりました。しかしながら、震災の影響による損害確定や直近在庫の確定を必要とする臨時棚卸が正常化したこと等により、売上高は2,784百万円（前年同四半期比10.4%減）、セグメント損失は232百万円（前年同四半期比208百万円の損失増加）となりました。

②海外棚卸サービス

海外棚卸サービスにおいては、当第1四半期連結会計期間より新規連結したAJIS (HONG KONG) CO., LIMITEDおよびAJIS (THAILAND) COMPANY LIMITEDの2社を含め、売上増加基調で推移しておりますが、先行投資コストを賄うまでに至らず厳しい状況が続いております。売上高は156百万円（前年同四半期比25.6%増）、セグメント損失は110百万円（前年同四半期比100百万円の損失増加）となりました。

③リテイルサポートサービス

リテイルサポートサービスにおいては、増収傾向が続いておりますが、利益面では販売費及び一般管理費をカバーするまでには至っておりません。売上高は441百万円（前年同四半期比25.9%増）、セグメント損失は10百万円（前年同四半期比11百万円の損失減少）となりました。

これらの結果から、当第1四半期連結累計期間における売上高は3,381百万円（前年同四半期比5.6%減）、営業損失は342百万円（前年同四半期比289百万円の損失増加）、経常損失は335百万円（前年同四半期比294百万円の損失増加）、四半期純損失は237百万円（前年同四半期比201百万円の損失増加）となりました。

当社グループの売上高の特徴として、国内棚卸サービスの閑散期である第1四半期連結会計期間および第3四半期連結会計期間の売上高は少なく、国内の主要な顧客であります流通小売業界の決算が集中する第2四半期連結会計期間および第4四半期連結会計期間は繁忙期となり売上高が多くなる傾向があります。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は9,495百万円（前連結会計年度比11.9%減）となりました。これは主として上述いたしました繁忙期と閑散期の売上格差に対応し売掛金が減少したことによるものです。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における総負債は2,183百万円（前連結会計年度比26.5%減）となりました。これは、主として閑散期による給与の未払金の減少および未払法人税等を納付したことによる減少です。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は7,311百万円(前連結会計年度比6.3%減)となりました。これは、主として配当金の支払により、利益剰余金が減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期における第2四半期連結累計期間および通期の業績予想につきましては、平成24年5月10日に発表いたしました「平成24年3月期決算短信」に記載の業績予想と変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

AJIS(HONG KONG)CO., LIMITEDおよびAJIS (THAILAND)COMPANY LIMITEDについては、当社グループにおいて重要性が増したことにより、当第1四半期連結会計期間から連結の範囲に含めております。

※AJIS(HONG KONG)CO., LIMITED

主な事業内容 棚卸サービス

資本関係 当社100%出資

※AJIS (THAILAND)COMPANY LIMITED

主な事業内容 棚卸サービス

資本関係 当社99.9%出資

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社および国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

当該変更に伴う損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,540,070	4,493,838
受取手形及び売掛金	2,671,466	1,460,718
貯蔵品	53,418	56,409
その他	310,883	380,830
貸倒引当金	△300	△200
流動資産合計	7,575,539	6,391,596
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,234,540	1,234,540
その他(純額)	800,573	829,739
有形固定資産合計	2,035,113	2,064,280
無形固定資産	350,885	329,055
投資その他の資産		
その他	823,674	718,395
貸倒引当金	△8,041	△7,907
投資その他の資産合計	815,633	710,488
固定資産合計	3,201,632	3,103,823
資産合計	10,777,171	9,495,420
負債の部		
流動負債		
短期借入金	97,680	101,543
1年内返済予定の長期借入金	60,000	60,000
未払金	1,581,913	1,213,828
未払法人税等	229,457	8,930
賞与引当金	302,861	186,742
役員賞与引当金	3,080	769
その他	520,490	450,120
流動負債合計	2,795,484	2,021,935
固定負債		
長期借入金	105,000	90,000
退職給付引当金	1,142	2,310
その他	70,217	69,688
固定負債合計	176,359	161,998
負債合計	2,971,844	2,183,934

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	475,000	475,000
資本剰余金	489,665	489,665
利益剰余金	8,205,729	7,720,529
自己株式	△1,307,983	△1,308,005
株主資本合計	7,862,411	7,377,189
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△38,487	△46,157
為替換算調整勘定	△42,815	△43,836
その他の包括利益累計額合計	△81,302	△89,993
少数株主持分	24,219	24,290
純資産合計	7,805,327	7,311,485
負債純資産合計	10,777,171	9,495,420

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
売上高	3,581,169	3,381,622
売上原価	2,868,978	2,880,100
売上総利益	712,191	501,521
販売費及び一般管理費	765,606	844,041
営業損失(△)	△53,415	△342,520
営業外収益		
受取利息	814	933
受取配当金	5,923	5,898
受取賃貸料	5,014	5,574
その他	4,730	2,057
営業外収益合計	16,483	14,464
営業外費用		
支払利息	683	1,390
賃貸費用	2,876	2,985
為替差損	581	1,563
その他	0	1,689
営業外費用合計	4,141	7,628
経常損失(△)	△41,073	△335,685
特別損失		
災害による損失	9,992	—
固定資産除却損	88	1,862
関係会社株式評価損	13,800	—
特別損失合計	23,881	1,862
税金等調整前四半期純損失(△)	△64,954	△337,547
法人税等	△28,283	△99,599
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△36,671	△237,948
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△107	12
四半期純損失(△)	△36,563	△237,960

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△36,671	△237,948
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,700	△7,670
為替換算調整勘定	3,907	△1,023
その他の包括利益合計	6,607	△8,693
四半期包括利益	△30,063	△246,641
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△29,955	△246,651
少数株主に係る四半期包括利益	△107	9

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	国内棚卸サービス	海外棚卸サービス	リテイルサポートサービス	合計
売上高				
外部顧客への売上高	3,106,462	124,372	350,335	3,581,169
セグメント間の内部売上高又は振替高	5,119	—	245	5,365
計	3,111,581	124,372	350,581	3,586,535
セグメント損失(△)	△23,792	△9,911	△22,326	△56,031

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

損 失	金 額
報告セグメント計	△56,031
セグメント間取引消去	2,615
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△53,415

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	国内棚卸サービス	海外棚卸サービス	リテイルサポートサービス	合計
売上高				
外部顧客への売上高	2,784,233	156,209	441,178	3,381,622
セグメント間の内部売上高又は振替高	5,222	—	2,974	8,197
計	2,789,455	156,209	444,153	3,389,819
セグメント損失(△)	△232,706	△110,087	△10,402	△353,197

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

損 失	金 額
報告セグメント計	△353,197
セグメント間取引消去	10,677
四半期連結損益計算書の営業損失（△）	△342,520

3 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度から、「その他」に含まれていた「海外棚卸サービス」と「リテイルサポートサービス」について、投資家に対する積極的開示の観点から報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

以上